

令和4年度の年金額改定について

令和4年度の年金額が、法律の規定により、令和3年度から0.4%の引き下げとなります。

令和4年度の新規裁定者（67歳以下の方）の年金額の例

	令和3年度（月額）	令和4年度（月額）
国民年金 （老齢基礎年金（満額）：1人分）	65,075円	64,816円 （△259円）
厚生年金※ （夫婦2人分の老齢基礎年金を 含む標準的な年金額）	220,496円	219,593円 （△903円）

※平均的な収入（平均標準報酬（賞与を含む月額換算）43.9万円）で40年間就業した場合に受け取り始める年金（老齢厚生年金と2人分の老齢基礎年金（満額））の給付水準です。

国保病院のお医者さん

オミクロンとワクチン

内科医 吉田 優一

昨年に続きまだコロナコロナで鬱陶（うっとう）しい日々が続いています。町民の皆さんは本当に十分に注意をして生活しており、おかげさまで町内の発病者はごく少数でとどまっており当院においても医療崩壊を招かずに済んでおります。（締切日段階では）

今流行しているオミクロン株とワクチンの効果についてお話しをします。

オミクロン株は今までの株と違い弱毒化していると言われますがその通りなのかもしれません。ただ感染力が半端なく、マスクを外して喋れば当然のことながらマスクをしていても至近距離での会話であるとその予防効果は低下するような情報もあります。やはり知人とは言え普段の生活圏が違う人々同士のマスクなしでの飲食や会話はこの第6波では避けた方がよしいということだと思います。

2月に入り当町でも3回目のコロナワクチン接種が随時実施されてきています。国としても早々に済ましてもらいたい行事になっていますが、どうも今までの株とこのオミクロン株はワクチンの恩恵が違うような気がします。大雑把に言えば効きが甘いと

いうことになるのですが、それでも毎年打つ必要のあるインフルエンザワクチンと同等かそれよりマシな効果は期待できるという点を強調したいです。効果が弱いのはたぶん「感染予防効果」であり、それはウイルスが体内に侵入しても増殖することを阻止することで、これについてはインフルエンザワクチン並みなものかもしれません。だから函館の某国立病院では3回接種しているにも関わらず多くの職員が感染シクラスター化して病院機能が停止してしまう出来事が起きてしまったわけです。この人々のほとんどは無症状であると言われていますが彼らがどの程度他の人にうつす能力を持っているのかははっきりしませんが、少なからず感染力があるのは間違いないのでしょう。ですがワクチン接種により感染した人が重症化することを予防する効果は相変わらず確実なようで、その点において特に高齢の皆さんは3回目の接種をお願いしたいわけです。

うつりやすさからマスク手洗いは引き続き重要、運悪く感染したときのために3回のワクチン接種が望ましいとご理解をお願いします。